

# TDS REPORT

## 箱根駅伝の応援に行こう!!

箱根駅伝を目前に控えた陸上競技部男子チームの赤崎主将と期待の新人ラジニ選手にインタビューをしました。(取材日:2019年10月19日)  
本戦は、2020年1月2、3日。選手の人柄を知り、より身近に感じ、皆さんもぜひ箱根駅伝の沿道応援に参加して選手たちにエールを送ってください。

### 出雲駅伝を終えて

学生レポーター(以下レポ)「まずは、出雲駅伝※1お疲れ様でした。今大会を終えての感想をお聞かせ願えますか？」

**赤崎主将**(以下敬称略)「今回の出雲駅伝では、新しいメンバーを4人加えて臨みました。初めて駅伝を走るメンバーが大半だったこともあり、入賞を逃し、悔しい思いをしました。ここで見つけた課題を次に活かしたいと思います」

**レポ**「新メンバーを4人も加えて走られたとは、かなり大胆な作戦でしたね。しかし随分と厳しい感想ですが、逆に今大会で良かったと思う点は何かありますか？」

**赤崎**「自分は今回の出雲駅伝では、残り5キロ過ぎという早い段階から勝負を仕掛けました。それが結果的に功を奏したと思います」

**レポ**「1区の3位通過という結果が、後の保険になったとも言えますからね。ラジニ選手は3区で怒涛の追い上げを見せましたが、初めての出雲駅伝はいかがでしたか？」

**ラジニ選手**(以下敬称略)「個人的には、非常に良いパフォーマンスをすることができたと思います。ただ、雨による寒さ、風の冷たさがなければより良い結果が残せたかもしれません」

**レポ**「天候が若干走りマイナスに働いたのですね。日本の気候はやはりケニアとは異なりますか？」

**ラジニ**「はい、気候の違いには未だに戸惑う事があります」

**レポ**「そうですね。ここからは、少々プライベートな質問もさせていただきます」

**レポ**「ラジニ選手はケニアのご出身ですが、ケニアの言葉で好きな言葉はありますか？」

**ラジニ**「挙げるとしたら、『カリブ(Karibu)』です。これはスワヒリ語で人と会う時に使う言葉です。英語で言えば“welcome”に近いかもしれません」

**レポ**「出会いの言葉を大切にされているのですね。出会いといえば、赤崎主将はラジニ選手と出会って半年、共に苦難を越えて来られたかと思いますが、ラジニ選手の事をどう思っていますか？」

**赤崎**「彼の事は次世代を背負う後輩として、心強く感じています」

**レポ**「そうですね。ラジニ選手は間違いなく次期エース候補ですね」

**赤崎**「でも同時に、自分は彼に対して、エースの意地として、絶対に負けたくないとも思っています」

**レポ**「仲間でありライバルですね。」

※1 出雲駅伝  
「全日本大学駅伝」箱根駅伝と並び、大学三大駅伝として、駅伝シーズンの幕開けを飾る大会。出雲駅伝の最大の特徴は「高速駅伝」であること。毎年「体育の日」に開催。2019年・第31回大会に拓殖大学は5回目の出場を果たし、全20校中9位の成績を収めた。

万全の体制で  
挑めるよう、  
しっかりと  
調整していきたい

勝利の鍵は  
チームワーク

### 選手の日常

**レポ**「ラジニ選手は入学されて半年ほどが過ぎましたが、日本には慣れましたか？」

**ラジニ**「そうですね、だいぶ慣れてきました。でも、気候や食文化にはいまだに苦労しています」

**レポ**「日本に来て一番苦労したことはありますか？」

**ラジニ**「苦労していることはたくさんあります。例えば電車での移動です。日本の電車は混雑しているので大変です。それと、部活動が休みの月曜日も、授業を受けなければいけないので…。部活も勉強も忙しくまだまだ慣れていないことはたくさんあります」

**レポ**「ラジニ選手はまだ1年生ですからね。これから学生生活に慣れて、楽しんでいけたら良いですね。赤崎主将は4年生ですが、学業は順調ですか？」

**赤崎**「はい、部活との両立はしっかりと出来ています」

**レポ**「流石主将ですね。学業も部活ももちろん大切ですが、たまには気分を変えることも必要ですよ。そこで赤崎主将は、休日どのように過ごされているのですか？」

**赤崎**「休日は部屋にすることが多いです」

**レポ**「それは意外ですね。部屋では何をされているのですか？」

**赤崎**「YouTubeを見ています。最近はフィッシャーズの動画にハマっています」

**レポ**「フィッシャーズですか!? フィッシャーズさんは体を張ったネタが多いと思うのですが赤崎主将が見ているとは意外です」

**レポ**「チームメイトの皆さんと一緒に休日を過ごしたりはしないのですか？」

**赤崎**「もちろんチームメイトとも遊びに行きますよ。陸上部の中では中井選手(商学部4年)と玉澤選手(工学部4年)と仲良くして、玉澤選手とは最近タビオカを飲みに行きました」

**レポ**「赤崎主将は、タビオカが好きなのですね」

**赤崎**「タビオカもですが、甘いものが好きですね。試合前にはカフェオレを飲みます」

**レポ**「本当に甘いものが好きなのですね。甘いものは意外とカロリーが高いと思うのですが？」

**赤崎**「その分走っているんで、大丈夫です！」

### 第96回 箱根駅伝に向けて

**レポ**「では最後の質問になりますが、今後の意気込みをお願いします。まずは赤崎主将からどうぞ」

**赤崎**「駅伝は強豪校でも必ず毎年勝ち残れるとは限らない、非常にシビアな競技です。勝利の鍵はチームワークにあると思うので、それを大切に、一人一人が必ず糧を繋ぐことのできるチームにしていきたいと思います」

**レポ**「最高のチームワークで、過去最高の結果を残される事を期待しています。それではラジニ選手、どうぞ」

**ラジニ**「万全の体制で挑めるよう、しっかりと調整していきたいです」

**レポ**「次世代のエース候補の力走、楽しみにしています。本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございました」

#### ケニアから来た期待のルーキー

小さい顔と細い手足が特徴的。1年生の彼は勉強も部活も忙しいようだ。部内では青柳選手(商学部3年)と仲が良いらしい。好きな日本語は「こんにちは」。挨拶を大切にしている。11月17日に行われた上尾シティマラソン ハーフ男子大学生の部で優勝。

#### プロフィール

**ジョセフ・ラジニ・レメティキ**  
国際学部国際学科4年  
ケニア・オファファジョリジ高校出身

#### プロフィール

**赤崎 暁(あかさきあきら)**  
商学部経営学科4年  
熊本県・開新高校出身

#### 陸上競技部 主将

右側の目の下にある泣きボクロが印象的。しかし、寝起きの目つきが悪く後輩に怖がられているらしい。好きな曲はAAAの「負けない心」4年間ずっと試合前に必ず聴いている赤崎主将お気に入りの曲。上尾シティマラソンでは、ラジニ選手に続き、日本人トップの2位。翌年3月開催のニューヨークシティハーフマラソンに招待選手として出場する。



# START

## 1区・10区 六郷土手の橋の上

スタート直後の大集団での滑走！良い位置につけているか、オレンジのユニフォームを探しつつ応援。レースが始まる頃には橋の上は人でいっぱい！！選手がよく見えるガードレール側に陣取って応援に備えておくのがポイント。また、橋の上は風が強いので防寒の準備を。

#六郷土手 #スタンバイは1時間前から  
#スタート

## 2区・9区 各校のエース区間！ 権太坂

「華の2区」と呼ばれる最長区間。速さと連続する坂のアップダウンに対応できる各校エース選手が揃います。応援地点は権太坂の始まり。スピードを維持したまま駆け上がる姿を観戦できます。坂に向かって飛び込んでいく背中を声援で押してください！9区はシード権争いの終盤！往路も復路も目が離せない区間です！

#華の2区 #シード争い  
#鶴見中継所



## 3区・8区 平塚市・湘南海岸公園付近

応援地点は平塚駅からすぐ！アクセスの良さも沿道応援の重要ポイント。直線のコースの為、後方の選手もよく見え、テレビでは伝わりにくい選手間の距離を直に感じる事ができます。また、駅伝の観戦が終わったら、是非砂浜へ。相模湾越しの富士山は、眺めるだけで一年の運気を高めてくれそうです！

#直線コース #海風



## 4区・7区 二宮駅・小田原駅付近

山登りの前にトップとの差を縮めておきたい重要区間。各チーム準エースの集まる区間とも呼ばれます。小田原駅に程近い応援地点は3カ所。各地点にはオレンジ色ののぼりが揺られて選手の到着を待ち構えます。また、山下りを待ち構える7区はすでにシード権争いも加熱してきます。中継所での襷リレーも見逃しません。

#二宮 #襷リレー #小田原駅



箱根駅伝当日はSNSで繋がろう！

# 拓大 Recommend!!

- # 駅伝
- # がんばれ拓大
- # 令和初の箱根駅伝
- # オレンジ旋風
- # 絶対応援
- # オレたちの拓殖大学
- # 押忍
- # 拓殖大学
- # 2020
- # いだてん

※写真：第95回箱根駅伝の様子

## 5区・6区 いざ！箱根の山

この区間は選手だけでなく各校の応援も見所です。現役生と卒業生が一体となって校歌や応援歌を歌い、選手へエールを送ります。一緒に熱い応援をしていると寒さが吹飛びます！応援場所は他大学と隣り合っているので譲り合って応援するようにしてください。早朝は路面の凍結にご注意ください！

#芦ノ湖 #5区山登り #6区山下り



# GOAL

## フィニッシュ地点 大手町

スピードを落とさず行う給水はまさに神業。テレビでは観られないポイントです。選手が近づくにつれ波のように起こる歓声に、テンションが上がることも間違いなし！リアルタイムで情報を集めながらの観戦もいいが、スマホを見ず、今か今かとオレンジの襷の到着を祈りながら待つのも楽しいですよ。交通アクセスの便利な大手町駅ですが、駅の一部出入口が利用禁止となるので要注意！

#フィニッシュ地点 #大手町 #給水ポイント



# Impressions 私が応援する理由

TDSレポーター  
国際学部 国際学科 4年  
伊藤 絢子



私が駅伝に興味を持つきっかけとなったのは、大学の職員の方に誘われて駅伝の沿道応援に参加したことです。それまでは、テレビで駅伝の解説を聞きながら、何かの片手間に観ていた程度でした。私の中での駅伝といえば「お正月に箱根を走る。」それ以上のことは知りませんでした。そのため大学に入学して初めて拓殖大学が駅伝の常連校だと知り、「自分自身が通っている大学が走っているのだから一度現地に行こう」という正直軽い気持ちでの参加でした。

しかし、そんな私が見た、ある景色が私の意識を大きく変えました。その景色とは、選手が襷を一生懸命繋いでいく姿です。217.1キロという長距離を、息を切らしながら必死で走る姿は、ちょっとやそっとのことで物事をあきらめてはいけなくて自分を叱咤することができ、それが私の学生レポーターとしての活動の源になっています。駅伝を観戦することは自分に「頑張ろう」という活力を与えてくれます。私はそのことを皆さんに伝えたいと思い、今回の取材にも臨みました。

駅伝はやはり現地で観戦するのと自宅で観るのとでは、臨場感が全然違います。例えば、沿道の人々の熱気です。テレビでは選手をメインにカメラで映していますが、沿道では選手が一瞬で通過してしまうにも関わらず、通過する数時間前から寒い中で待機している方が大勢います。また、当日配信される選手たちの位置情報を見ながら、その場に居合わせた人たちと各学校の垣根なく、情報を共有しあい仲を深めることもできます。特に拓殖大学ののぼりのもとにはOBやOG、またはテレビを見てやってきた駅伝ファンの方々が集まり温かい言葉を毎年かけてくださり、その人たちとの触れ合いから駅伝に掛けるそれぞれの思いや拓殖大学を応援している気持ちが伝わってきます。そこ

では普段は見えない繋がりを感じることができ、卒業してからも応援しているOB・OGの先輩方を見ていると拓殖大学の歴史の長さや愛着を改めて感じることができます。

また沿道応援を続けてきたことで駅伝に対する見方が変化しました。それは今まで私は、駅伝の順位にしか関心が向かなかったのですが、実際に応援に駆け付け、声援を送っていくうちにどのような練習をしているのか？ どのような人たちが走っているのかという部分にも興味を持つようになりました。

今回、赤崎主将とラジニ選手を取材して、来年の箱根駅伝も今からとても楽しみです。

赤崎主将、ラジニ選手は取材する前には大人びた雰囲気を感じていましたが、取材後はそれぞれに私たちと同じ大学生らしさを感じ、二人に対する印象が変わりました。二人ともとても親しみやすい選手でした。人柄をよく知ったことで、ますます応援したくなりました。

この記事を読んで沿道応援の魅力を感じてもらえたなら、箱根駅伝の本戦は、私達と一緒に沿道から選手に熱いエールを送りましょう！



2019.1.3 10区六郷土手にて(左:伊藤さん)

### 駅伝応援に関する注意事項

1. 脚立を使つての応援は危険です
2. ガードレールや橋など、沿道公共物への横断、旗、のぼり等をくくりつけることはできません。
3. 自動車、自動二輪車、自転車等の車両による応援は危険であり、交通渋滞を招きます。
4. 混雑緩和と、応援者の場所取りなどによる混乱を避けるため、スタート地点、フィニッシュ地点、中継所の前後100m以内では出場校を示す物は掲出できません。例)校旗、部旗、その他、大学を標示する横断、旗、大学新聞の配布等。
5. 道路上での応援は危険です。必ず歩道から応援してください。
6. ベットをお連れの方は道路に出ないよう、ご配慮ください。
7. 選手は歩道寄りギリギリを走りますので、歩道から手を出したり、身体を乗り出している応援は危険です。
8. コース周辺での無人飛行機(ドローン)の操縦、飛行、自撮り棒の利用はできません。 ※ 応援場所のゴミは必ず持ち帰り、気持ちよく応援しましょう。

陸上競技部の情報・箱根駅伝の応援ポイントは拓殖大学のホームページよりご確認ください。



<https://www.takushoku-u.ac.jp/>

Twitter @Takushoku\_Univ

Facebook @TakushokuUniversity